

京都市交響楽団

The 605th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

第605回 定期演奏会



ヴェルディ：歌劇「ナブッコ」序曲
ベルク：ヴァイオリン協奏曲「ある天使の思い出に」
シューマン：交響曲第3番変ホ長調「ライン」op.97

Verdi : Overture from Opera "Nabucco"
Berg : Concerto for violin and orchestra "To the memory of an angel"
Schumann : Symphony No.3 in E-flat major "Rhenish" op.97

入場料 **S**¥5,000 **A**¥4,500 **B**¥3,500 **P**¥2,000 (舞台後方席)

当日残席がある場合のみ発売 ▶ 学生券&後半券 **S**¥2,000 **A**¥1,500 **B**¥1,000

※学生券は開演1時間前から(学生証をご提示ください)、後半券は開演後から休憩終了(後半開始)まで発売(学生券は、席種は選べますが、座席指定はできません)。


- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2016年9月16日までに京響075-711-3110へお申し込みください)
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。京響(075-711-3110)までお問い合わせください。

プレイガイド(電話予約)

- 京都コンサートホール… (075)711-3231 ●ロームシアター京都… (075)746-3201 (24時間オンラインチケット購入… <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>)
- チケットぴあ… (0570)02-9999 Pコード280-080
- ローソンチケット… (0570)000-407 Lコード53125

お問い合わせ
京都市交響楽団 (075)711-3110 <http://www.kyoto-symphony.jp/>
京都コンサートホール (075)711-3231 <http://www.kyotoconcerthall.org/>

◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。
◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

助成：  文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

2016
9/24(土)・9/25(日)

午後2時30分開演(午後1時30分開場)

京都コンサートホール

Sat, Sep. 24, 2016 / 2:30PM Sun, Sep. 25, 2016 / 2:30PM
Kyoto Concert Hall

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

開演前(午後2時10分ごろから)は指揮者による「プレトーク」でお楽しみください。
「プレトーク」はホール・ステージ上にて開催します。



デスピノーサのイタリア&ドイツの真髄
アラベラが弾くベルクの遺作

指揮 **ガエタノ・デスピノーサ**
Conductor : Gaetano d'ESPINOSA

ヴァイオリン **アラベラ美歩シュタインバッハ**
Violin : Arabella Miho STEINBACHER

©Peter Rigaud

主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市



協賛：ローム株式会社

協力：株式会社ドルチェ楽器

後援：(株)エフエム京都

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

Rohm Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション



2016.1.10 OPEN
ロームシアター京都
ROHM Theatre Kyoto

京都市交響楽団 第605回定期演奏会

The 605th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

イタリアに生まれ、ドレスデン国立歌劇場のコンサートマスターを務めた後、指揮者に転向したデスピノーサが、自国のヴェルディとドレスデンで培ったシューマンを指揮。
ナブッコはヴェルディの出世作で、勇気と希望に溢れる名作、ラインはシューマンの精神状態に回復がみられた明るく雄大な曲。
アラベラ・美歩のベルク最後の傑作と共にお楽しみいただきます。

指揮

ガエタノ・デスピノーサ

Conductor : Gaetano d'ESPINOSA



1978年、イタリアのパレルモで生まれ、同地でピアノ、ヴァイオリン、作曲を学ぶ。1992年ヴィットリオ・ヴェネト、1996年ロヴェレ・ドーロ国際音楽コンクールでともに最高位を獲得し、ヴァイオリニストとしてキャリアをスタート。2003年から2008年まで、ドレスデン国立歌劇場のコンサートマスターを務め、その間、作曲家としても自作のヴァイオリン協奏曲を初演。ドレスデンでのファビオ・ルイーゼとの出会いをきっかけに、2008年以降は指揮者としての活動に専念し、クレメラータ・バルティカ、プラハ・フィルハーモニア管弦楽団、ミラノ・ヴェルディ交響楽団などに客演しキャリアをスタート。ファビオ・ルイーゼの推薦で、2010年5月ドレスデン国立歌劇場で「椿姫」、7月ミュージカルアシスタントとして、札幌のパンフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)、さら

らに2011年4月ジェノヴァ歌劇場にて「道化師」を指揮し、センセーショナルな成功を収める。2011年10月、日本センチュリー交響楽団、群馬交響楽団の定期演奏会で日本のオーケストラと初の共演を果たし、2012年1月にはリヨン歌劇場に代役として招かれ、ブッチェーニの3部作「ジャンニ・スキッキ、外套、修道女アンジェリカ」を指揮、各紙からその豊かな音楽的才能を絶賛される。引き続き、グラーツ歌劇場の「オテロ」、「マリア・ストゥアルダ」、4月には、NHK交響楽団にデビュー。以降、ヴェネツィア・フェニーチェ座管弦楽団、フィレンツェ五月祭管弦楽団、ローマ・サンタ・チェチーリア管弦楽団、トリノRAI交響楽団、ローマ歌劇場というイタリアを代表するオーケストラに一気にデビュー。2014年5月の来日では、NHK交響楽団定期演奏会に登場し、再び高い評価を得た。続いて7月には、日本での指揮者としての活動のきっかけとなったPMFに再び招かれた。その後もヴェネツィア・フェニーチェ座において「椿姫」、「ノルマ」の指揮を務めるなど話題に事欠かない。ガエタノ・デスピノーサは、現在注目を集める若手世代の指揮者達のなかでも最も興味深い才能とみなされ、一気に国際舞台における活躍の場を拡げている。2013年9月、ミラノ・ヴェルディ交響楽団首席客演指揮者に就任。

ヴァイオリン

アラベラ・美歩・シュタインバッハー

Violin : Arabella Miho STEINBACHER

世界のメジャー・オーケストラと共演を重ね、国際舞台で活躍する第一線のヴァイオリニストとして確固たる地位を確立している。2004年、パリで急病のジョン・キョンファに代わり、サー・ネヴィル・マリナー指揮フランス放送フィルとベートーヴェンの協奏曲で大成功を収め、ソリストとしてのキャリアをスタートさせた。これまでに、ロンドン響、ロンドン・フィル、ドレスデン・シュターツカペレ、バーミンガム市響、シカゴ響、パイエルン放響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、NDR北ドイツ放響、ベルリン・ドイツ響、ベルリン放響、WDRケルン放響、ウィーン響、チェコ・フィル、スイス・ロマン管、サンクトペテルブルク・フィル、イスラエル・フィル等の一流オーケストラと共演。指揮者では、ロリン・マゼール、ネヴィル・マリナー、コリン・デイヴィス、ズービン・メータ、クリストフ・フォン・ドホナーニ、クルト・マズア、リカルド・シャイー、シャルル・デュトワ、ヘルベルト・ブロムシュテット、ウラディーミル・アシュケナージ、マレク・ヤノフスキ、ネーメ・ヤルヴィ、ヴァレリー・ゲルギエフ、アントニオ・パッパーノ、ウラディーミル・フェドセーエフ、ファビオ・ルイーゼ、アンドリス・ネルソンス、ジョナサン・ノット、サカリ・オラモ、ヤニック・ネゼ＝セガン、ウラディーミル・ユロフスキ等と共演している。CDはペンタトーン・クラシックスと専属契約を結び、グラモフォン・マガジンのエディターズ・チョイス賞等、受賞多数。近年は「R.シュトラウス：ヴァイオリン・ソナタ、フランク：ヴァイオリン・ソナタ」、「メンデルスゾーン&チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲（デュトワ指揮スイス・ロマン管）」等、多数リリースしている。2015年、グラモフォン誌のグラモフォン・アーティスト・オブ・ザ・イヤーにノミネートされた。ミュンヘンでドイツ人の父と日本人の母に生まれ、3歳の時からヴァイオリンを始める。9歳の時に、ミュンヘン音楽学校でアナ・チュマチェンコ教授の最年少の生徒となった後、巨匠イヴリー・ギトリスからも多大な音楽的影響と指導を受けた。2001年、アンネ＝ゾフィー・ムター財団の奨学金を獲得した。使用楽器は、日本音楽財団貸与のストラディヴァリウス「ブース」(1716年製)。



©Peter Rigaud

京都市交響楽団 *Kyoto Symphony Orchestra*

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏等にも積極的に取り組み、2007年「第25回京都府文化賞特別功労賞」「京都創造者大賞2007」受賞。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月からは常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年「第27回ミュージック・ペンクラブ音楽賞」及び「第46回サントリー音楽賞」受賞。2015年6月、18年ぶりのヨーロッパ公演で成功を収め、2016年には創立60周年という節目を迎えて、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。



2016 7/30(土)から発売!

❖ 次回予告 ❖

2016 8/19(金)から発売!

第606回定期演奏会

ラドミル・エリシュカ望郷の「新世界」
～遅れてきた巨匠のチェコプログラム～

日時：2016年10月7日(金) 午後7時開演

会場：京都コンサートホール

指揮：ラドミル・エリシュカ

曲目：スメタナ：「わが祖国」から、交響詩「モルダウ」

ドヴォルザーク：交響的変奏曲op.78

ドヴォルザーク：交響曲第9番小短調「新世界から」op.95



第607回定期演奏会

現代の至高!「トゥーランガリラ」

日時：2016年11月26日(土) 午後2時30分開演

2016年11月27日(日) 午後2時30分開演

会場：京都コンサートホール

指揮：高関 健 (常任首席客演指揮者)

独奏：児玉 桃 (ピアノ)

原田 節 (オンド・マルトノ)

曲目：メシアン：トゥーランガリラ交響曲



©Marco Borggreve

©Utaka Harano

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)